

123456780123456780123456780123456780123456780123456780123456780123456780123456780123456780

青森市の わかりやすい予算書

令和4年度

123456780123456780123456780123456780123456780123456780123456780123456780123456780123456780

目 次

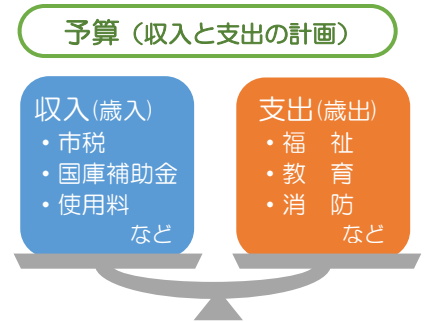
令和4年度当初予算について	頁
Q1 予算ってなに？.....	1
Q2 予算ってどうやって決めるの？.....	1
Q3 予算って変えられるの？.....	1
Q4 令和4年度の予算規模はどのようになっているの？.....	2
Q5 青森市民『1人あたり』で見ると、どれくらいの予算になるの？.....	3
Q6 青森市の予算には、どんな『収入』があるの？.....	4
Q7 青森市の予算には、どんな『支出（目的別）』があるの？.....	5
Q8 青森市の予算には、どんな『支出（性質別）』があるの？.....	6
Q9 青森市の予算を家計に例えるとどうなるの？.....	7
Q10 令和4年度はどんな事業を行うの？.....	8
第1 しごと創り（9頁）、第2 ひと創り（15頁）、第3 まち創り（21頁）	
第4 やさしい街（23頁）、第5 つよい街（27頁）、第6 かがやく街（32頁）	

令和4年度当初予算について

Q1 予算ってなに？

A

- 市役所では、福祉、教育、ごみ処理、消防、道路の整備など、様々な仕事をしていますが、どんな仕事にお金を使うのかあらかじめ決めておく必要があります。
- そこで、1年間（4月から翌年の3月まで）に市役所に入ってくる収入を見積もり、収入の範囲内でその使いみち（支出）を計画したものが「予算」になります。



Q2 予算ってどうやって決めるの？

A

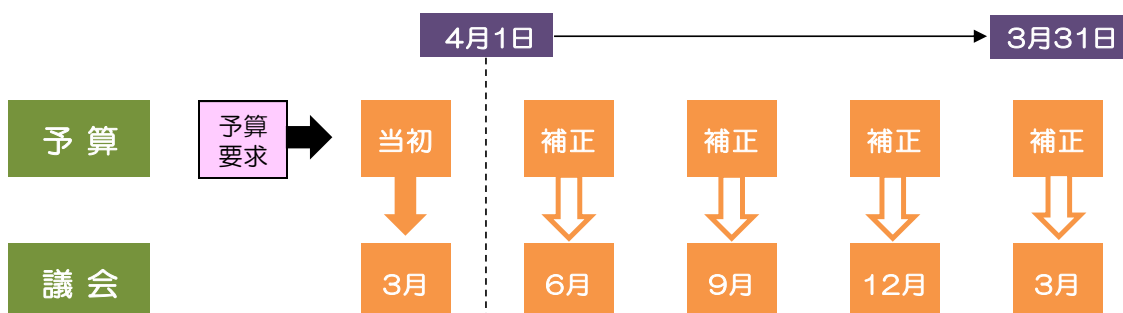
- 皆さんにより良い生活を送っていただくために何をしたら良いか、そして、そのためにどのくらいのお金が必要なのかを検討し、予算の案を作成します。
- できあがった予算案は、皆さんが選挙で選んだ市議会議員で構成される市議会に提出され、内容の審議を経た後に、市議会の議決を受けてはじめて予算が決まります。



Q3 予算って変えられるの？

A

- 変えられます。「補正予算」と言います。
- 4月1日から翌年の3月31日までの1年間に必要とされる予算は「当初予算」として、年度が始まる直前の3月議会で決まります。
- 年度の途中で、状況の変化や新しい事態が発生した場合には、変化に対応するため「当初予算」に変更を加える必要があります。これが「補正予算」です。
- 当初予算と同様に、市議会に提出され、市議会の議決を受けてはじめて決まります。



Q4 令和4年度の予算規模は どのようになっているの？

- A**
- 青森市の令和4年度予算額は、2,604億50万円となっています。
 - このうち、市民の皆様の日常に大きく関わっている一般会計の予算総額は、1,238億1,100万円となっており、全体の47.6%を占めています。
 - この冊子では、主に一般会計を中心に説明を行っていきます。



青森市観光キャラクター
ねいだたん

特別会計 35.7%

930億233万円

前年度 838億2,735万円 (R3→R4 +10.9%)

特定の収入(使用料や保険料など)で特定の支出に充てられる場合など、一般会計とは別にその経理を明らかにするために設けられた会計です。

競輪事業特別会計	286億3,605万円
国民健康保険事業特別会計	277億4,749万円
宅地造成事業特別会計	3億1,866万円
卸売市場事業特別会計	8億2,545万円
介護保険事業特別会計	314億2,264万円
母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計	6,315万円
後期高齢者医療特別会計	37億4,262万円
駐車場事業特別会計	2億4,627万円

※財産区特別会計を除く。

一般会計 47.6%

1,238億1,100万円

前年度 1,226億3,300万円
(R3→R4 +1.0%)

市民の皆様に納めていただく市税や国からの交付税を主な財源として、福祉、教育、環境、消防、道路など、市の基本的な行政サービスを行う会計です。

企業会計 16.7%

435億8,717万円

前年度 437億5,433万円 (R3→R4 Δ0.4%)

民間企業と同じように、その事業によって得た収入で支出をまかなう、いわゆる独立採算を原則とする事業について設けられた会計です。

病院事業会計	139億6,374万円
下水道事業会計	164億864万円
農業集落排水事業会計	5億9,975万円
水道事業会計	95億7,121万円
自動車運送事業会計	30億4,383万円

合計

2,604億50万円

前年度 2,502億1,468万円
(R3→R4 +4.1%)

ポイント

- 令和4年度の一般会計の予算規模は、前年度と比べて+1.0%となっています。
- 一般会計予算の歳入と歳出に同額が計上されている、過去に借入した起債の借換分(R4:約10.8億円、R3:約21.8億円)を引いた金額でも、前年度と比べて+1.9%となります。
- 令和4年度は青森市プレミアム付商品券事業、事業継続支援緊急対策事業の実施などにより予算規模が増加しています。

Q5



青森市民『1人あたり』で見ると、
どれくらいの予算になるの？

A

●青森市の一般会計予算 1,238 億 1,100 万円を、青森市民『1人あたり』に換算してみました。

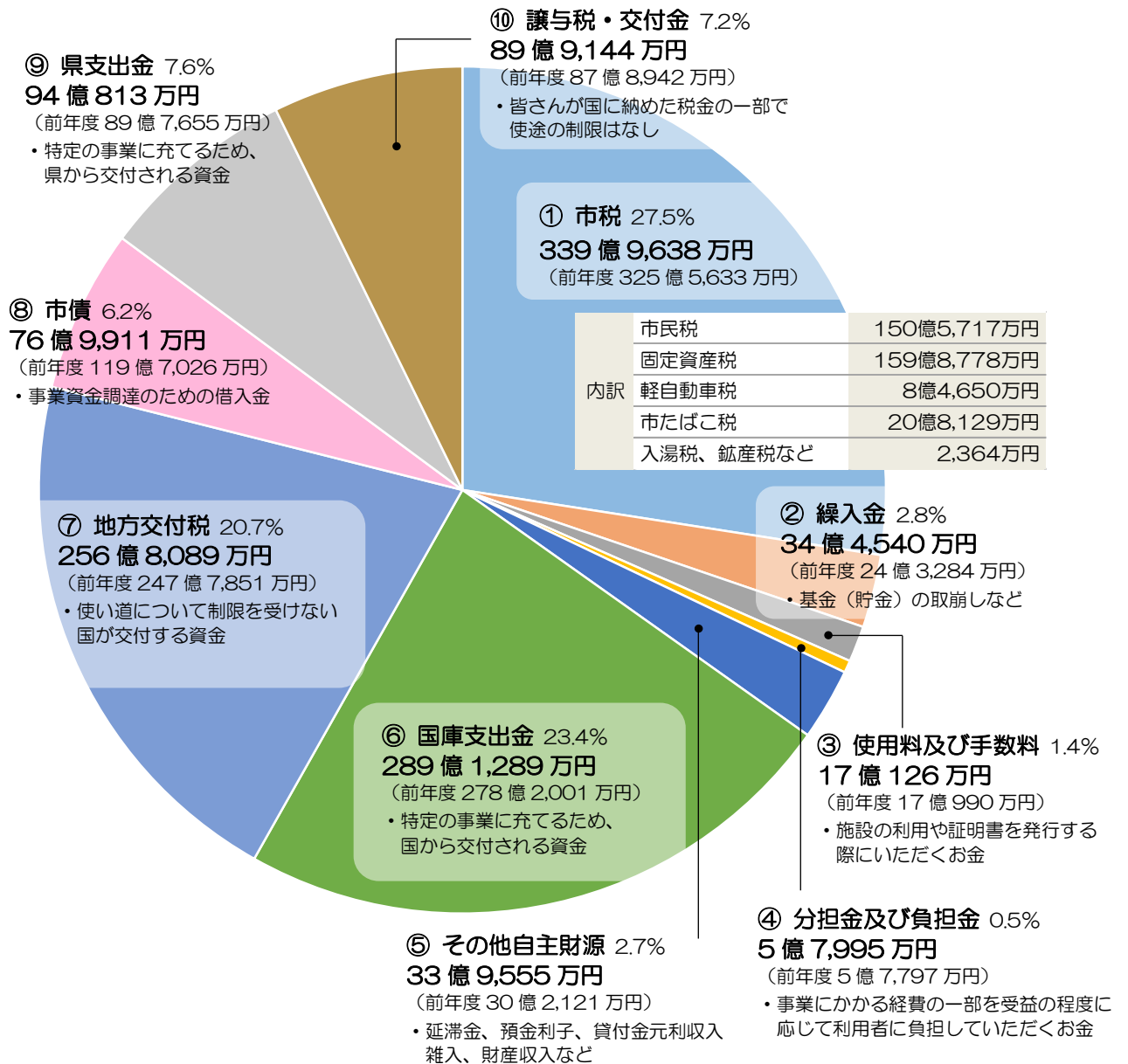
市民1人あたりの予算額 **45万1千円**

青森市の人口 **274,396人** (※令和4年3月1日現在)

子育て、 高齢者福祉など		民 生 費	20万8千円	46.0%
借金の返済		公 債 費	5万2千円	11.4%
道路、河川の 整備など		土 木 費	4万4千円	9.8%
学校の管理、 社会教育など		教 育 費	4万4千円	9.8%
庁舎の管理、 地域振興など		総 務 費	3万4千円	7.5%
健康づくり、 環境保全など		衛 生 費	2万7千円	6.1%
消防活動など		消 防 費	1万5千円	3.3%
商工・観光の 振興など		商 工 費	1万5千円	3.4%
農林水産業の 振興など		農 林 水 産 業 費	6千円	1.3%
その他		議会費、労働費など	6千円	1.4%

Q6 青森市の予算には、 どんな『収入』があるの？

- A**
- 青森市の一般会計予算における収入の項目別内訳は次のとおりです。
 - ①～⑤は、市が自主的に調達できる収入である『自主財源』です。
 - ⑥～⑩は、国や県から交付される財源や借入金である市債のような『依存財源』です。



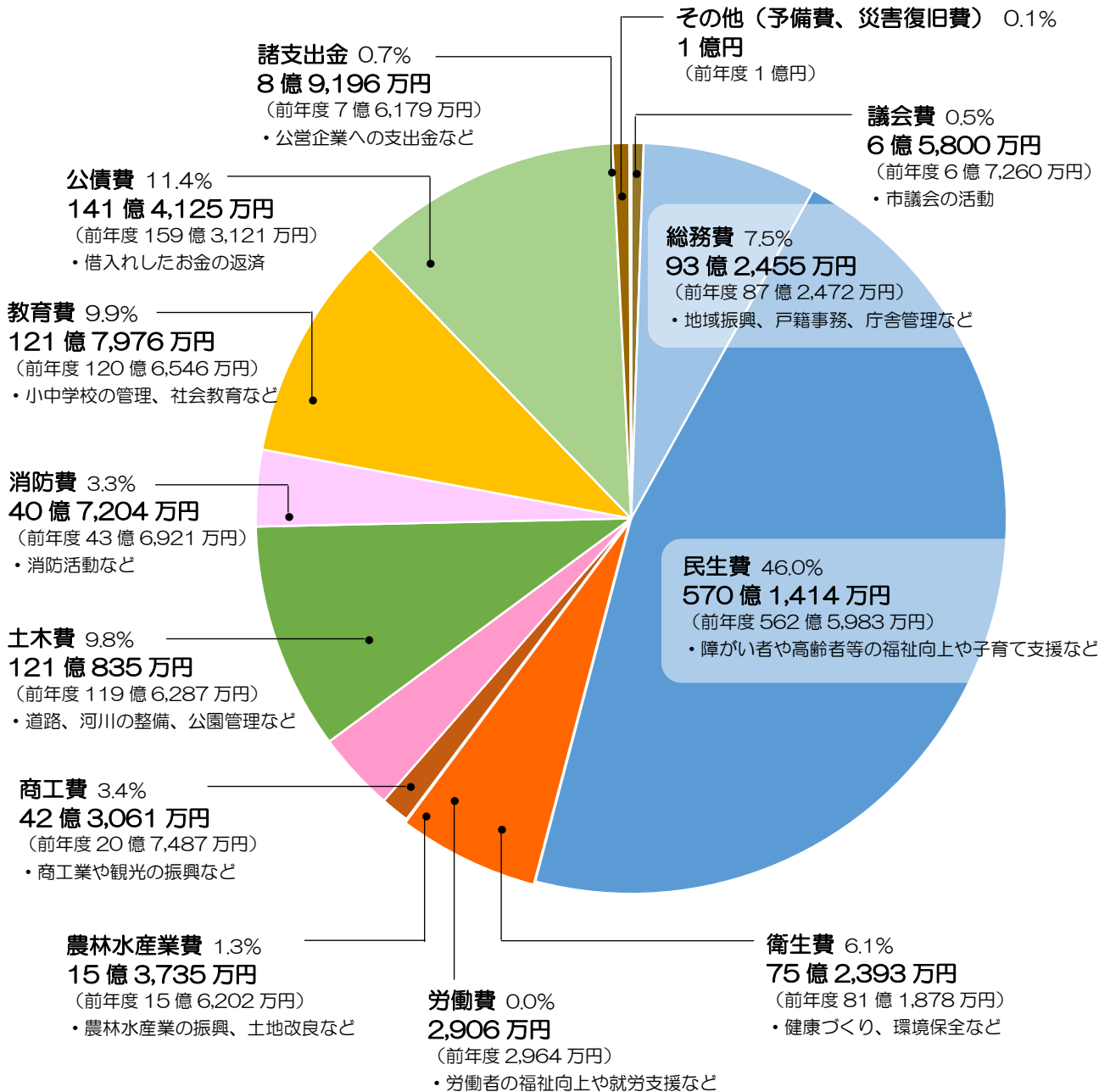
ポイント

- 自主財源（①～⑤の計）の割合は34.9%と、前年度から2.0ポイント増加しています。
- 地方交付税は、令和4年度地方財政対策に沿った推計において3.6%増を見込んでいます。
- 市債は、臨時財政対策債の減少等の影響で35.7%減少となっています。

Q7 青森市の予算には、 どんな『支出（目的別）』があるの？

A

●青森市の一般会計予算における『支出（目的別）』は次のとおりです。



ポイント

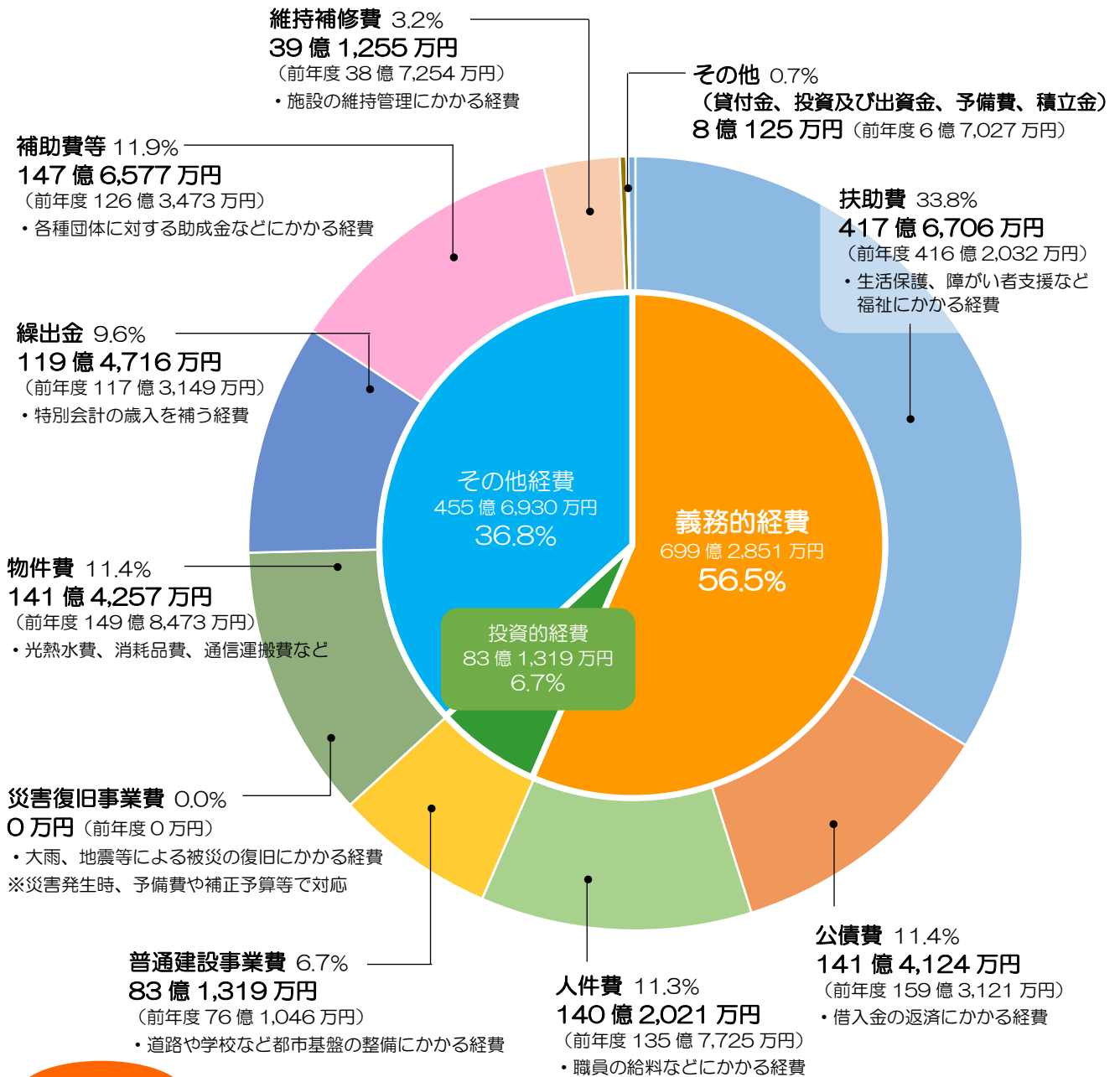
- 支出（目的別）は、福祉や教育など14の目的に分かれています。
- それぞれの目的は、人件費や投資的経費など、様々な性質を持つ支出で構成されています。
例)「教育費」⇒投資的経費（校舎改修等）、物件費（光熱水費や消耗品等）、人件費（給料等）

Q8

青森市の予算には、 どんな『支出（性質別）』があるの？

A

●青森市の一般会計予算における『支出（性質別）』は次のとおりです。



ポイント

- 義務的経費が全体の5割を超えています。
- 補助費等が約21億3千万円増加しています。これは、青森市プレミアム付商品券事業の実施や事業継続支援緊急対策事業等によるものです。
- 物件費が約8億4千万円減少しています。これは、新型コロナウイルスワクチン接種の3回目接種等の前倒し等の減によるものです。

Q9

青森市の予算を家計に例えるとどうなるの？

A

●令和4年度一般会計予算 1,238億1,100万円を、年収480万円（1ヶ月あたり40万円）の家計に例えてみました。

収入

給料	22万2千円
うち基本給（市税）	11万円
うち諸手当（地方交付税など）	11万2千円
パート収入 （使用料・手数料など）	1万8千円
親からの仕送り （国庫支出金など）	12万4千円
貯金の取り崩し （繰入金）	1万1千円
借金（市債）	2万5千円
うち住宅ローン （公共事業のためなどの市債）	1万7千円
うちカードローン （臨時財政対策債）	8千円
合計	40万円

支出

食費（人件費） 職員の給料	4万5千円
家族の医療費（扶助費） 生活困窮者や障害者に対する支援など	13万5千円
借金の返済（公債費） 市債の返済など	4万6千円
光熱水費等の雑費（物件費・補助金など） 公共施設の管理経費など	9万4千円
車や家具の修理代（維持補修費） 建物の修理など	1万3千円
子どもたちへの仕送り （他の会計への繰出金）	3万8千円
家の増改築費（公共事業など） 道路や学校の建設など	2万7千円
貯金（積立金など） 将来に残しておくお金など	1千円
その他（貸付金など）	1千円
合計	40万円



Q10 令和4年度はどんな事業を行うの？

A ●次のページから、令和4年度当初予算に計上した主な事業について、青森市総合計画に基づく6つの政策ごとに、順を追ってご説明していきます。



しごと創り

産業の振興・雇用対策の推進
農林水産業の振興
観光の振興・誘客の推進

やさしい街

保健・医療の充実
高齢者福祉の充実
障がい者福祉の充実
暮らしを支える福祉の充実

ひと創り

子ども・子育て支援の充実
教育の充実
スポーツの推進
文化芸術の推進

つよい街

防災体制・雪対策の充実
土地利用・都市景観の形成
交通インフラの充実

まち創り

地域内連携・広域連携の推進
安全・安心な市民生活の確保
ユニバーサル社会の形成

かがやく街

豊かな自然環境の保全
快適な生活環境の確保
廃棄物対策の推進

第1章 しごと創り

若者をはじめとした多くの市民がこのまちで暮らしていける環境づくりに**挑戦**

1-1 産業の振興・雇用対策の推進

《コロナ禍で打撃を受けている市内事業者を幅広く支援》

◆地域経済の回復と地元事業者の支援

青森市プレミアム付商品券事業【新規】

1,562,412 千円

全ての登録店舗で利用できる共通券に加え、新たに地元事業者の店舗限定で利用できる地元応援券を設けたプレミアム付商品券を発行します。

【券面額】15,000円

(販売価格 10,000円/プレミアム率 50%)

【発行数】約28万セット(市民1人1セット)

【券種】1セット1,000円券×15枚

全店共通券 10枚(全ての登録店舗)

地元応援券 5枚(市内に本店がある事業者の店舗)

【販売期間】令和4年6月(予定)



事業継続支援緊急対策事業【新規】

439,571 千円

小売業・飲食サービス業等全19業種の市内事業者に対して、事業継続に必要な経費について支援します。

【助成内容】1事業者当たり上限90万円

(家賃・自己所有物件固定資産税の8割相当額を3か月分、3事業所・店舗まで)

【受付期間】令和4年4月中旬～6月(予定)

観光事業者等支援緊急対策事業【新規】

89,420 千円

市内観光事業者に対して、事業継続に必要な経費について支援します。

【対象業種】①宿泊施設 ②民間バス事業者 ③タクシー・運転代行・レンタカー事業者

【助成内容】①上限300万円、下限50万円(施設の床面積100㎡当たり3万円)

②上限200万円(所有車両台数に応じた額)

③上限100万円、下限10万円(所有車両台数に応じた額)

【受付期間】令和4年4月中旬(予定)

青森市新事業チャレンジ支援補助金事業【新規】

175,108 千円

新型コロナウイルス感染症による社会経済の変化を踏まえ、テイクアウト・デリバリー等の新たな需要に対応する飲食店のビジネスモデルの転換や新規創業など、新たな取組に意欲的にチャレンジする事業者を支援します。

【補助率】2/3(上限100万円)

【補助対象事業】

①新製品の開発、新サービスの提供等に関わる事業

②既存商品の製造方法、提供方法の変更等に関わる事業

③新規創業に関わる事業



(経済部 経済政策課・新ビジネス支援課・交流推進課、都市整備部 都市政策課)

《地域企業新ビジネス挑戦支援》

◆新たなビジネスに挑戦する地域に根ざした中小企業を応援

空き店舗リノベーション支援事業【拡充】

4,463 千円

商店街の空き店舗を活用して出店する事業者に対し、店舗改装工事費の一部を助成するとともに、青森市、青森商工会議所、AOMORI STARTUP CENTER、青森県信用保証協会が連携し、出店までのサポートを強化する事で、起業・創業希望者のチャレンジを促進します。

【取組内容】

- ・ 事業組立てから開業までの相談窓口の一元化
- ・ 商店街の空き店舗情報をデータベース化し、空き店舗の利活用を促進
- ・ 「商店街空き店舗リノベーション支援事業補助金」の申請から交付決定までの期間を短縮
- ・ AOMORI STARTUP CENTER を活用し新規創業する場合、融資の貸付利率が△0.1%



地域企業ビジネス支援拠点運営事業（連携）

41,871 千円

起業・創業からコロナ禍における様々な経営課題まで、一貫して対応する経営相談窓口「AOMORI STARTUP CENTER」を運営するとともに、スタートアップ支援を目的としたセミナーやピッチイベント等を開催します。

【取組内容】

- ・ 自社商品やサービスのPRを目的とした「あお☆スタピッチ交流会」の開催
- ・ 起業家のコミュニティ形成を目的とした、短期間で集中的に実施するワークショップ「（仮称）あお☆スタ起業塾」を開催（新規） など



地域貢献人材マッチング支援事業

4,800 千円

優秀な外部人材を活用したい地域企業と専門スキルを地域貢献に生かしたい都市部の副業・兼業人材とのマッチングを支援し、地域企業の経営課題の解決や関係人口の創出、ワーケーションの促進等を図ります。

【取組内容】

- ・ 事業者向け経営課題解決セミナーの開催
- ・ 都市部の副業・兼業人材と地域企業のマッチング支援
- ・ 都市部の副業・兼業人材の活用に要する経費の一部を補助

地域ベンチャー支援事業

11,405 千円

地域を牽引するスタートアップの育成を図るため、協業や資金調達など新たなリソースの獲得を目的としたイベントの開催や短期間で集中的に成長を促す支援プログラムを実施します。

【取組内容】

- ・ 育成企業に応じたセミナーやワークショップによる集中支援の実施
- ・ 多彩な経験や専門性を持つメンターからの個別メンタリングの実施
- ・ 事業提携や資金調達など新たなリソース獲得のため、大企業や投資家に対し、プレゼンテーションを行う成果発表会（Demoday）の開催

（経済部 経済政策課・新ビジネス支援課）

《新しい働き方担い手誘致プロジェクト》

◆移住者・関係人口の増加に向けた新たなワーケーションを展開

①リモートワーク・ワーケーション体験モニター事業【拡充】

- ・全国の IT 人材、プロフェッショナル人材が登録するサイトを活用し、移住検討者に移住体験施設に宿泊しながら地域のお手伝いや、住民との交流を体験いただくモニター事業を実施

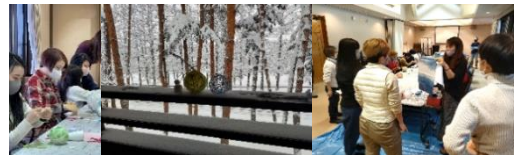
5,679 千円



②クリエイターワーケーション体験ツアー【新規】

- ・全国のクリエイターが登録するサイトを活用し、青森でのクラフト市での販売、地元クリエイターとの交流を体験いただくモニターツアーを実施

5,052 千円



◆県外企業、移住・移農検討者向けのトップセールス、PR イベントを実施

③首都圏での「企業誘致説明会・セミナー」【拡充】

1,300 千円

④首都圏での PR イベント（移住就農）【拡充】

841 千円

- ・トップセールスや説明会の開催により、首都圏の IT 系企業のサテライトオフィス設置や市内誘致企業・関係企業の新たな事業展開を促進
- ・本市への移住就農希望者の掘り起こしと更なる拡充を図るため、地域おこし協力隊就農隊員等による PR イベントを実施



◆企業立地、就職支援、移住・移農情報の発信、PR を強化

⑤web 広告による情報発信【拡充】

528 千円

⑥農業情報総合サイトを活用した情報発信【拡充】

275 千円

- ・位置情報広告（ジオターゲティング広告）を活用し、首都圏等の企業・移住希望者に対して企業立地支援・就職支援情報を効果的に発信
- ・本市への移住・就農の取組及び農業の魅力を効果的に発信するため、農業情報総合サイトを活用し、短期就農モニター・農業インターンシップの募集、移農に関する PR を強化



◆地域おこし協力隊員等による移住者支援体制を強化

⑦移住コーディネーター・地域おこし協力隊員【拡充】

16,526 千円

- ・地域おこし協力隊員の伴走支援等を行うコーディネーターの配置並びに移住支援担当隊員及び将来の就農を目指す隊員の配置（隊員 4 人→6 人）



（企画部 企画調整課、経済部 経済政策課、農林水産部 農業政策課・農業振興センター）

1-2 農林水産業の振興

《市産農林水産品の魅力向上と販売力強化》

◆先進技術の導入による作業の省力化や生産性向上に向けた取組を促進

スマート農業普及対策事業（連携）【拡充】

10,351 千円

農作業の省力・軽労化を進めるとともに、次世代を担う若手農業者の育成・確保を図るため、スマート農業の普及に努めます。

【取組内容】

- ・スマート農業技術を導入し、実証実験に取り組む農業者へ補助金を交付します。 [補助率] 1/2 (上限 200 万円)
- ・スマート農業プラットフォームを創設し、農機具メーカーや農協等の関係機関による情報交換が行える環境を整備します。

(農林水産部 農業政策課・あおもり産品支援課・農業振興センター)



◆八甲田牛ブランドの確立・価値の向上

八甲田牛ブランド化推進事業【新規】

5,736 千円

八甲田牛の繁殖・肥育農家が協働した生産・供給体制を整備するとともに、関係機関・団体と連携しながら、ブランド力強化のための付加価値化や認知度向上へ向けた各種取組により、八甲田牛ブランドの確立・価値の向上を図ります。

【取組内容】

- ・農家の労力軽減と肉質向上を目指すため、放牧に要する搬送費用の支援を行います。
- ・肉質成分分析を行い、八甲田牛の優位性を見極め、高付加価値化に取り組みます。
- ・ホテル・レストラン向け試食会を開催し、取扱店の掘り起こしを進めます。
- ・市内各イベントへ出店し、消費者への八甲田牛の認知度向上を図ります。

(農林水産部 農業振興センター)



◆ほ場等及び漁港の整備促進による生産性・流通基盤の維持・強化

ほ場等整備事業

(※令和3年度3月補正の国追加交付前倒し分を含む) 85,532 千円

ほ場の大区画化や農業用道路、農業用水利施設等の整備を図りながら、効率的な営農環境の確保と生産性の向上を図ります。

【取組内容】

- 新規：銀地区基盤整備（整備へ向けた調査、計画策定）
- 後潟川頭首工機能保全（洪水吐ゲート修繕 等）
- 野木地区農地改善（土層改良 等）

継続：幸畑地区、三本木・滝沢地区ほ場整備（農道整備、用排水施設整備ほか） 等



漁港整備事業

20,000 千円

漁港の利便性、安全性向上に向け、漁港の埋立・護岸工事、及び既存施設の機能強化工事等を行うことで、水産業の生産・流通基盤の維持・強化を行います。

【取組内容】

- 新規：久栗坂漁港（漁港内車止め設置）
- 後潟漁港（防舷材設置）
- 継続：奥内漁港（護岸・防波堤整備 等）

(農林水産部 農地林務課・水産振興センター)



1-3 観光の振興・誘客の推進

《コロナ禍に対応した観光の促進》

◆誘客・受入体制の充実

青森市観光振興対策事業（三密回避、デジタル技術の活用）

18,336 千円

本市の観光振興を図るため、青森商工会議所や（公社）青森観光コンベンション協会等の関係機関と連携し、コロナ禍に対応した誘客活動に取り組みます。

【取組内容】

○あおもりの旅ブランディング支援

本市を代表する観光地である浅虫地区と八甲田地区を対象に、アウトドア・アクティビティなどを含んだ三密回避の宿泊プラン造成を支援します。

○VR 観光動画制作

デジタル技術を活用し、「青森ねぶた祭」、「小牧野遺跡」、「三内丸山遺跡」をリアルに体験できる VR 動画を制作し、非接触型のプロモーションを実施します。



広域観光推進事業【拡充】（近場観光の充実）

11,174 千円

本市の拠点機能を生かした滞在型観光を推進するため、関係自治体等と連携し、観光ルートの構築や商品造成のほか、注目が高まっている近場観光も含めた国内誘客の充実に取り組みます。

【取組内容】

「東北絆まつり」でつながった東北6市が連携し、東北域内のほか、全国の主要都市等も対象に観光プロモーション等を実施します。

（東北6市：青森市・盛岡市・仙台市・秋田市・山形市・福島市）



外国人観光客誘客促進事業【拡充】

3,654 千円

八甲田地区観光商品造成支援事業【拡充】

（再開準備）

2,864 千円

外国人観光客の誘客促進に向け、本市の観光情報・魅力の発信について、需要回復を見据え、段階的に取り組みます。

【取組内容】

- ・本市への宿泊者が最も多い台湾をターゲットに、SNS等を活用した情報発信を実施します。
- ・北秋田市、山形市と連携を図り、海外の旅行エージェントを招請し、日本三大樹氷を周遊する旅行商品の造成に向けたFAMツアーを実施します。



（経済部 観光課・交流推進課）

◆浅虫地域の活性化の促進

道の駅ユーサ浅虫改修事業【新規】

45,654 千円

道の駅としての休憩機能や情報発信機能のほか、本市の観光及び地域振興を図るため、指定管理者による施設の適正な運営を行うとともに、更なる利用促進や設備の老朽化に対応するため、本年7月のリニューアルを目指し、物販コーナーの改修やキッズコーナーの設置等を行い、浅虫地域の拠点として、市民や観光客の方々にとってより魅力ある道の駅となるよう取り組みます。



【リニューアル内容】

- 物販コーナーのリニューアル
商品の陳列場所の見直しによる利用者の利便性向上のほか、ジェラートや利用者から要望のあったサンドイッチ等の新規取扱い
- キッズコーナーの設置 (236 m²)
滑り台・ボールプール等の遊具や授乳室用ベッドの設置
- 正面広場のリニューアル
本館とゆうさ市場を結ぶ動線サインの整備や、くつろぎスペースとして屋外用テーブル・イスの設置

(経済部 観光課)

◆職員の人材育成の推進

地域活性化起業人制度活用事業【新規】

5,600 千円

地域活性化起業人制度（総務省・企業人材派遣制度）を活用し、民間企業の社員を受け入れ、企業の有するノウハウや専門的な知識等を生かしながら、本市独自の魅力や価値の向上につなげる取組や本市職員の人材育成を推進します。



(総務部 人事課)

第2章 ひと創り

将来を担う世代を育むとともに、市民が生涯を通じて学び、地域や社会で活かせる環境づくりに挑戦

2-1 子ども・子育て支援の充実

◆不育症検査の経済的負担の軽減

不育症検査費用助成事業【新規】

1,757千円

不育症のかたの経済的な負担の軽減を図るため、現在、研究段階にある不育症検査のうち、先進医療として実施されるものを対象に、不育症検査に要する費用の一部を助成します。

【取組内容】

【対象検査】 先進医療として告示されている不育症（染色体）検査

【助成額】 1回の検査につき5万円まで



（保健部 青森市保健所 あおもり親子はぐくみプラザ）

◆安心して妊娠・出産・子育てができる環境支援

妊婦健康診査事業

173,900千円

安心して妊娠・出産ができるよう、公費負担による妊婦健康診査を実施し、母体の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を図ります。

【取組内容】

基本的な妊婦健康診査及び超音波検査等のほか、流産危険因子である妊婦の細菌性膣症を発見するための検査を実施します。



産後ケア（デイサービス・訪問）事業【新規】

2,784千円

産後1年未満の母親が安心して育児をし、子どもが健やかに成長できるよう、母子への心身のケアや育児等の支援を行います。

【取組内容】

市内ホテル（デイサービス）や母子の自宅（訪問）において、育児相談や乳房ケアを含む授乳指導や子どもの発達の確認、沐浴、オムツ交換の指導などを実施します。



（保健部 青森市保健所 あおもり親子はぐくみプラザ）

◆ひとり親家庭等への自立支援

ひとり親家庭等就業自立支援事業【拡充】

21,958 千円

ひとり親の就業を促進するため、各種相談の実施や資格取得促進のための給付金の支給等を行います。

【取組内容】

経済的自立に有効な専門的資格を取得する場合に支給する「高等職業訓練促進給付金」の対象資格を、これまでの看護師に加え、以下を追加します。

- ・准看護師、保育士などの国家資格等
- ・6月以上の訓練を通常必要とするデジタル分野等の民間資格



(福祉部 子育て支援課)

◆保育所等における感染症対策の支援

保育所等における感染拡大防止対策推進事業

51,800 千円

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、保育所等が購入するマスクや消毒液等の感染症防止用の保健衛生用品購入費や、職員が従事した感染症対策業務に係る職員手当等の経費を補助します。

[補助基準額] 1施設当たり 50万円以内 など



(福祉部 子育て支援課)

◆子育ての経済的負担の緩和

私立保育所等運営事業 10,708,884 千円

一時預かり事業（連携） 122,449 千円

病児一時保育事業（連携） 40,372 千円

私立保育所、認定こども園、幼稚園等に対し、入所児童の教育・保育の提供に必要な運営経費を支給するほか、保育士・幼稚園教諭等を対象に、収入を3%程度引き上げる処遇改善に必要な経費を支給します。

【連携内容】

- ・一時預かり及び病児一時保育は、東青地域児童も対象



(福祉部 子育て支援課)

◆児童福祉施設（保育所等）の整備促進

児童福祉施設整備費補助金

178,348 千円

「青森市子ども総合プラン」及び「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、児童福祉施設（保育所等）の整備に係る経費の一部を支援します。

【令和4年度 整備予定施設】

- ・幼稚園型認定こども園 1施設



(福祉部 子育て支援課)

2-2 教育の充実

◆教育 ICT 環境の実現

GIGA スクール推進事業

46,456 千円

Society 5.0 時代に生きる子供たちの未来を見据え、児童生徒向けの 1 人 1 台学習用端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する「GIGA スクール構想」の実現に取り組みます。

【取組内容】

- ・ 小学校 2 年生用 1 人 1 台パソコンの配備
(小学校 3 年生から中学校 3 年生用及び教師用については、令和 3 年度までに配備済み)



(教育委員会事務局 総務課)

◆子どもが安全・快適に教育を受けることができる環境の確保

小中学校改築事業

(※令和 3 年度 3 月補正の国追加交付前倒し分を含む)

学校施設の老朽化に対応する改築を行い、安全・安心な施設環境を確保し、教育環境の向上を図ります。

① 造道小学校

18,885 千円

【スケジュール】

令和 4 年度 : 地質調査及び基本設計

令和 5 年度～ : 実施設計 ほか

(※造道福祉館、青森消防団第 6 分団第 1・3 班機械器具置場と複合化)



造道小学校 (現況)

② 筒井小学校 (工事費)

1,541,028 千円

【スケジュール】

令和 3～5 年度 : 校舎改築工事

令和 6 年度～ : 旧校舎解体工事 ほか

(※筒井放課後児童会と複合化)



筒井小学校 (令和 3 年 11 月撮影)

③ 西中学校 (工事費)

293,739 千円

【スケジュール】

令和 4 年度 : 屋内運動場改築工事 (～5 年度)
エレベーター設置工事

令和 5 年度～ : 旧屋内運動場解体工事 ほか



西中学校 屋内運動場 (現況)

(教育委員会事務局 総務課)

教育環境整備事業

- ① 学校施設中規模改修 87,431 千円
- ② 学校トイレ洋式化改修 9,320 千円

老朽化した学校の暖房や屋根、トイレの洋式化などの改修を行い、教育環境の改善と建物の耐久性の確保を図ります。

【学校施設中規模改修実施校】

沖館小学校 … 校舎暖房・屋上防水（設計） ほか
浪岡中学校 … 校舎屋上防水（設計）

【学校トイレ洋式化改修（設計）実施校】

小学校 5 校（浪打小、古川小、篠田小、荒川小、野内小）
中学校 3 校（浪打中、甲田中、造道中）



（教育委員会事務局 総務課）

2-3 スポーツの推進

◆操車場跡地の利活用の推進 ※「第5 つよい街」5-2 土地利用・都市景観の形成とも関連

青森市アリーナプロジェクト推進事業 2,858,739 千円

青森操車場跡地周辺整備推進事業 363,487 千円

（※青森操車場跡地周辺整備推進事業は令和 3 年度予算繰越分を含む）

青森操車場跡地利用計画に基づき、市民の健康づくりとスポーツ振興、交流人口の拡大及び防災を目的とする拠点（アリーナ）及び操車場跡地周辺の整備を進めます。

【アリーナの整備スケジュール】

令和 4 年度：4 月着工 基礎、鉄骨工事 等
令和 5 年度：外壁、設備工事 等
令和 6 年度：7 月供用開始予定

【青森操車場跡地周辺の整備】

道路舗装工事、照明設備工事、トイレ整備工事 等

整備イメージ



（経済部 地域スポーツ課、都市整備部 都市政策課・公園河川課・道路建設課）

◆官民連携によるスポーツを通じた地域活性化

スポーツコミッション青森推進事業【拡充】

17,886 千円

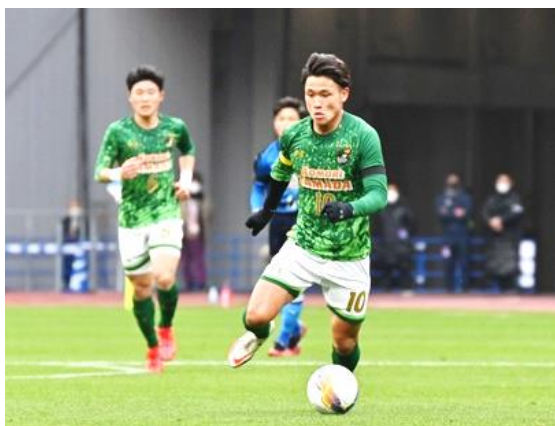
本市のスポーツ資源を活用したスポーツツーリズムの推進をはじめ、各種スポーツ大会等の開催支援や合宿・スポーツイベントの誘致等を官民一体で取り組むことにより、スポーツを通じた交流促進等による地域活性化を図ります。

【取組内容】

① 大会開催・合宿誘致

スポーツ大会と観光資源が融合した新たなスポーツツーリズムを推進するため、青森山田高等学校をはじめとする全国の中学・高校世代のトップチームが参加するサッカー大会の開催を支援します。

- ・ 名称：(仮称) 第1回青森ユースサッカー大会
- ・ 日時(予定)：U-15 大会 令和4年7月26日～29日
U-18 大会 令和4年8月12日～15日
- ・ 会場：大進建設スポーツ広場、みちぎんドリームスタジアムグラウンド等
- ・ 参加チーム：U-15 大会 16チーム程度
U-18 大会 16チーム程度
- ・ 宿泊先：浅虫温泉を中心に市内の宿泊施設



撮影：柴田光明館



② ダンスを生かしたスポーツ振興

2024年パリ五輪に採用される等、注目が高まっているダンスについて、全国で活躍するダンス指導者等と連携し、子ども達に対して中学校教育課程の必修科目となっているダンスの普及とスキルアップを図ります。

- ・ 小中学校でのダンスワークショップ
- ・ 教員への指導者講習会
- ・ ダンスを生かしたひと創りセミナー
- ・ 小中学生を対象としたダンス×デイキャンプ(新規)
- ・ オリジナルダンス制作(新規)

(経済部 地域スポーツ課)

◆交流人口の拡大による地域活性化

あおり桜マラソン開催事業

18,466 千円

本市のスポーツ人口の拡大や、市民の体力向上及び健康増進につなげるとともに、マラソンを通じた交流促進による地域活性化を図るため、「2022 あおり桜マラソン」を開催します。

大会の開催に当たっては、参加者を県内在住者に限定するほか、ランナーを複数のグループに分けて、時間差でスタートさせるウェーブスタートの実施や国のワクチン・検査パッケージ制度の活用など、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図ります。

【取組内容】

- ・日 時：令和4年4月17日（日）
- ・会 場：スタート会場…野木和公園、フィニッシュ会場…青い海公園
(経済部 地域スポーツ課)



2-4 文化芸術の推進

◆老朽化に伴う美術展示施設の移設

青森市民美術展示館移設事業【新規】

20,901 千円

市民の文化芸術活動の活性化や駅周辺のにぎわいの創出を図るため、老朽化が進む青森市民美術展示館を、JR東日本が整備する駅ビルに移設する取組を進めます。

【スケジュール】

- 令和4年度：設計
- 令和5年度：移設工事
- 令和6年度：供用開始（予定）



(教育委員会事務局 文化学習活動推進課)

第3章 まち創り

誰もが住み慣れた社会で安全で快適に暮らすことができる環境づくりに**挑戦**

3-1 地域内連携・広域連携の推進

◆ファシリティマネジメントの推進

福祉館改築事業 ※「第4 やさしい街」4-4 暮らしを支える福祉の充実とも関連

205,237 千円

青森市ファシリティマネジメント推進基本方針に基づき、施設機能の集約化や周辺既存施設との複合化などによる公共施設の老朽化対策に取り組みます。

【取組内容】老朽化した福祉館の建て替えを進めます。

佃福祉館（新規・設計）※御園町集会所と複合化

滝内福祉館（新規・設計）

造道福祉館（継続・設計）※造道小学校、消防団第6分団第1班、3班
機械器具置場と複合化

片岡福祉館（継続・改築）※令和5年1月供用開始予定



佃福祉館（現況）



滝内福祉館（現況）

（総務部 管財課、福祉部 福祉政策課、消防本部 警防課）

◆浪岡地区バドミントン移住学生への支援

浪岡地区バドミントン移住学生支援事業

浪岡地区におけるバドミントン競技によるまちづくりを推進させるため、県外から意欲ある中高生を呼び込み、もって将来的な定住促進及び浪岡地区の活性化に繋げていく市独自の取組を進めていきます。



① 移住費用の負担軽減【新規】

2,500 千円

浪岡中学校又は浪岡高校へ県外から入学してくる生徒（保護者）の負担軽減のため、引越等の初期費用を助成します。

〔対象経費〕 引越費、転居交通費、新生活に必要な物品購入費

〔助成額〕 上限 250 千円

② 受入態勢の整備【新規】

91,916 千円

浪岡中学校又は浪岡高校のバドミントン部入部を目的に、県外から入学・移住してくる生徒が安心して学校生活を送れるよう、学生寮を整備します。

〔スケジュール〕 令和4年度 建設工事、令和5年度 供用開始（予定）

③ 指導体制の強化【新規】 ※「第2 ひと創り」2-3 スポーツの推進とも関連

1,214 千円

競技力の強化及び地域活力の維持・継続を図るため、世界大会や全国大会への出場など優れた成績を残している生徒を輩出している指導実績のある外部指導者を部活動指導員として中学校に配置します。

〔配置校〕 浪岡中学校（バドミントン部）、筒井中学校（陸上部）

〔活動内容〕 部活動の顧問として指導や大会・練習試合への引率 等

（浪岡振興部 総務課、教育委員会事務局 指導課）

◆浪岡地区の活性化の推進

浪岡地域力活性化事業

3,000 千円

まちづくり協議会「なみおか未来創造会議」と連携し、浪岡地区が有する様々な資源を活用した取組により、浪岡地区の振興を図ります。

【取組内容】

- 歴史伝承事業
浪岡地区の伝統・文化と歴史遺産を伝承し、地区住民の郷土愛の醸成を図ります。
- 健康増進事業
浪岡地区住民の健康課題の改善を図ります。
- コミュニティビジネス創出事業
浪岡地区の魅力や課題を洗い出し、将来のコミュニティビジネス創出を図ります。



(浪岡振興部 地域づくり振興課)

3-2 安全・安心な市民生活の確保

◆交通安全対策の推進

交通安全推進補助事業

1,684 千円

信号機のない横断歩道手前における車両の一時停止の推進、その他交通安全啓発に取り組む団体を支援するとともに、各団体・関係機関と連携し、市民の交通安全意識の高揚を図ります。

【取組内容】

- ・信号機のない横断歩道手前での警察との連携による一時停止徹底の注意喚起
- ・運送事業所等の事務所内へのポスター掲示による運転従事者への更なる意識向上
- ・市公用車リアガラスへ横断歩道一時停止シートの貼付による後続車両への注意喚起
- ・「横断歩道を渡る時は、手を挙げる・目線をドライバーに向ける」など、歩行者側の注意点を掲載したチラシによる児童生徒等への意識啓発 など



(市民部 生活安心課)

3-3 ユニバーサル社会の形成

◆市民の平和意識の醸成

平和都市関連事業【拡充】

1,051 千円

7月28日に青森空襲があったという歴史的事実を継承し、「青森市平和の日条例」に定められた平和への思いを次世代に伝えていくため、各種事業を実施して市民の平和意識の醸成を図ります。

【取組内容】

平和祈念式典を開催するほか、先の大戦で被害を受け、また、東日本大震災で被害を受けた岩手県釜石市へ本市中学生を派遣する「平和・防災学習事業」を実施します。

令和4年度は、新たに釜石市の中学生を本市に受け入れる相互交流を行い、更なる平和意識の醸成を図ります。

(総務部 総務課)



第4章 やさしい街

心身ともに健康で、互いに支え合いながら、安心して生きがいをもって暮らすことができるまちの実現

4-1 保健・医療の充実

《新型コロナウイルス感染症対策プロジェクト》

◆感染症から市民を守るための体制確保

①新型コロナウイルスワクチン接種事業

1,015,336 千円

(※3回目接種実施に係る令和3年度12月補正及び3月補正分を含む)

新型コロナウイルスによる感染拡大及び重症化を予防し、まん延防止を図るため、引き続き、3回目接種及び5歳から11歳の小児ワクチン接種など、新型コロナウイルスワクチンの円滑な接種のために必要な接種体制の確保や市民への周知・相談等を行います。



【取組内容】

- ・対象者に接種券等を個別通知
- ・コールセンターや市ホームページ等を活用し、円滑な接種予約体制を維持
- ・ワクチン接種に関する相談をコールセンター等に対応
- ・予防接種の有効性や安全性、副反応等について情報提供 等

(保健部 青森市保健所 感染症対策課)

②地域外来・検査センター運営事業

156,156 千円

青森市医師会のご協力のもと、発熱など新型コロナウイルス感染症を疑う患者を診察する「地域外来・検査センター」を引き続き開設し、市民誰もが毎日必要な診療・検査を受けることができる県内随一のPCR検査体制を運営します。また地域外来では、自宅療養者のかたへ電話診療又はオンライン診療を行います。



(保健部 青森市保健所 保健予防課)

③新型コロナウイルス感染症拡大防止事業【拡充】

335,538 千円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備え、感染予防及びまん延防止対策を行います。

【取組内容】

- (1) 医療機関におけるウイルス検査事業
地域外来・検査センターのほか、かかりつけ医等の身近な医療機関で、必要に応じて抗原検査等を受けられる体制を継続します。
- (2) 自宅療養者生活支援事業
医師が入院の必要がないと判断したかたなどが、自宅療養となった場合に、配食サービスの実施やパルスオキシメータ（血中酸素飽和度測定器）の貸出（230台）、当番医による電話又はオンラインを用いた健康相談や診療体制を構築し、安心して療養に専念できる体制を整えます。
- (3) 感染拡大防止啓発事業
感染症予防対策を徹底するため、市ホームページ、テレビやラジオ、広報あおもり等により周知を図ります。



(保健部 青森市保健所 感染症対策課)

◆市民病院・浪岡病院における医療の充実

共同経営・統合新病院整備検討事業負担金【新規】

1,000 千円

県立中央病院と青森市民病院のあり方について、青森県と本市において協議した結果、令和4年2月に「青森県と青森市の共同経営による統合病院を新築整備する」ことを基本方針とすることで合意したことから、検討課題について具体的かつ詳細な検討を行うため、病院運営等に精通した専門家（コンサル）からの助言等を受けるための業務委託を行います。



○委託費用 4,000 千円

（財源内訳）青森県（地域医療介護総合確保基金財源）…2,000 千円

青森県（県病院局）…1,000 千円

青森市（市民病院）…1,000 千円

浪岡病院利用促進事業【新規】

200 千円

新型コロナウイルス感染症の影響により、患者の受診控えや健康診断の延期など、外来患者及び入院患者が減少している状況の中、浪岡地区の医療、健康づくりの推進に向けて、浪岡病院及び浪岡振興部の職員等で構成する浪岡病院利用促進委員会を設置し、浪岡病院と浪岡振興部の連携強化を図るとともに、浪岡病院の利用促進対策を検討します。



○浪岡病院 PR 経費等 200 千円

（市民病院事務局、浪岡病院事務局）

◆ヒトパピローマウイルス感染防止の推進

ヒトパピローマウイルス感染症予防接種事業【拡充】

172,115 千円

子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス（HPV）の感染を防ぐため、定期接種として HPV ワクチンの予防接種を実施します。また、国の積極的な接種勧奨の差し控えにより接種機会を逃したかたに対して、公費による接種（キャッチアップ接種）を実施します。



【取組内容】

[対象者] ①小学6年生から高校1年生に相当する年齢の女子

②平成9年度生まれから平成17年度生まれの女子（キャッチアップ接種）

[接種回数] 3回

[実施場所] 市内指定医療機関

（保健部 青森市保健所 あおもり親子はぐくみプラザ）

4-2 高齢者福祉の充実

◆ニーズに則した介護サービスの充実

老人福祉施設整備費補助金

255,643 千円

青森市高齢者福祉・介護保険事業計画第8期計画に基づき、住み慣れた地域での生活を支えるための地域密着型サービスの施設整備に係る経費の一部を支援します。

【令和4年度 整備予定施設】

認知症高齢者グループホーム	2 施設
小規模な介護付きホーム	1 施設
看護小規模多機能型居宅介護事業所	1 施設
定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	1 施設



(福祉部 介護保険課)

◆認知症に関する支援の推進

認知症総合支援事業【拡充】

1,991 千円

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症のかたや家族を支援するための体制づくりを進めます。

【取組内容】

- ・ 認知症サポーター等がチームを組んで、認知症のかたやその家族を支援するための仕組み（チームオレンジ）を構築します。
- ・ 認知症に関する市民の理解を深めるため「認知症フォーラム」を開催します。



(福祉部 高齢者支援課)

4-3 障がい者福祉の充実

◆障がいのあるかたの生活支援の充実

外出介護サービス事業【拡充】

23,568 千円

外出時において困難のある障がい者等に対して、公的機関や医療機関等へ赴くため、又は公的施策によって行われる研修、講座等出席のための外出の際に、ホームヘルパーを派遣し外出の際の支援を行います。

【取組内容】

これまでの、ヘルパー1人に対し1人の利用者への支援を行う「個別支援型」に加え、利用者が同一の目的地等へ移動する際にヘルパー1人で最大3人の利用者への支援ができる「グループ支援型」を実施し、利便性の向上による利用機会の増加を図ることで、障がいのあるかたの自立生活及び社会参加を進めます。



(福祉部 障がい者支援課)

◆障がいのあるかたに対する相談支援体制の強化

障害者相談支援事業

31,864 千円

障がい者が地域で自立した生活ができるよう、市が委託する指定特定相談支援事業所において、障がいのあるかたやその家族等からの相談に応じ、障害福祉サービスの利用支援や情報提供、虐待防止や権利擁護のための必要な援助を行います。

【取組内容】

青森市障がい者自立支援協議会から提出された「青森市における今後の障がい者に対する相談支援体制のあり方に関する提言」を受け、市が委託する相談支援事業所を中心とした5圏域毎の連携体制や基幹相談支援センター機能の整備について検討等を行い、相談支援体制の充実・強化を図ります。



(福祉部 障がい者支援課)

4-4 暮らしを支える福祉の充実

◆地域福祉の充実

地域福祉計画推進事業【拡充】

9,056 千円

青森市地域福祉計画に基づき、地域住民が共に支え合い、助け合い、安心して生活できる地域づくりを推進します。

【取組内容】

地域共助ネットワークの構築、地域内の支え合い体制の構築、地区の福祉やまちづくりに関する情報の集約、地域福祉の担い手の育成・確保等を行います。また、ボランティアポイント制度について、交換品のバスカードを青森市地域連携 IC カード「AOPASS」の交通ポイントに変更します。



(福祉部 福祉政策課)

第5章 つよい街

災害や雪に強く、機能的で快適なまちの実現

5-1 防災体制・雪対策の充実

《除排雪体制強化プロジェクト》

◆冬期間における市民生活の安全と道路交通の確保

①除排雪対策事業【拡充】

3,183,006 千円

冬期間における道路交通の確保のため、除排雪事業実施計画に基づき、国、県、除排雪事業者及び町（内）会等との連携のもと、効果的・効率的な除排雪作業を実施します。

【取組内容】

豪雪災害対策本部設置時における除排雪体制

- ・「除排雪対策監」を配置し、パトロール班、雪に関する市民相談窓口、スノーレスキューを相互に連携させ、相談・要望を機動的に処理する体制を構築
- ・除排雪事業者による除排雪作業に遅れが生じた場合は、周辺工区等の受託事業者等との連携及び市直営除雪車7台により、作業を支援する体制を整備
- ・屋根雪処理が困難な世帯や通学路等歩道を確保するための応急対策に、市の職員で構成するスノーレスキュー隊を設置・派遣（体制強化のために新たに車両6台を配置）



②豪雪地帯安全確保緊急対策事業【新規】

72,858 千円

（※令和3年度3月補正の国追加交付前倒し分を含む）

除排雪の更なる効率化と安全確保を図るため、除排雪情報を管理する総合管理システムを整備するとともに、地域の共助による除排雪活動を支援します。

【取組内容】

- ・現行の除排雪車運行管理等のシステムに、3Dマップ・ライブカメラによる道路状況把握や除排雪作業指令のデジタル化などの新たな機能を付加した統合システムを整備
- ・除雪ボランティア活動団体へ貸出ししている除雪機を9台更新（購入）
- ・除雪ボランティア活動団体の安全対策として、安全帯・命綱20セット等の安全用具の貸出しや実地講習会の実施、アドバイザーによる活動支援



（都市整備部 道路維持課）

③除雪オペレーター担い手育成支援事業

900千円

冬期間の安全で安心な交通を確保するため、市の除排雪業務を請け負う事業者に対し、除排雪作業の担い手となる除雪オペレーター育成に係る車両系技能講習の受講料等の費用の一部を補助します。

[補助率] 1/2 (1人2万円・1社当たり5人を上限)



④除排雪力向上連携ネットワーク形成事業(連携)

360千円

豪雪災害時においても、青森圏域の連携市町村が市民生活の維持及び道路交通の確保ができるよう、連携して除排雪作業ができる体制の構築を目指し、連携市町村の除排雪力の向上や情報共有に資する取組を実施します。

【取組内容】

- ・青森圏域の除排雪を担う者を対象に、運転技術や安全意識の向上を目的とした除排雪オペレーター講習会の開催



(都市整備部 道路維持課)

◆冬期間の快適な生活空間の確保のための流・融雪溝の整備

流雪溝整備事業

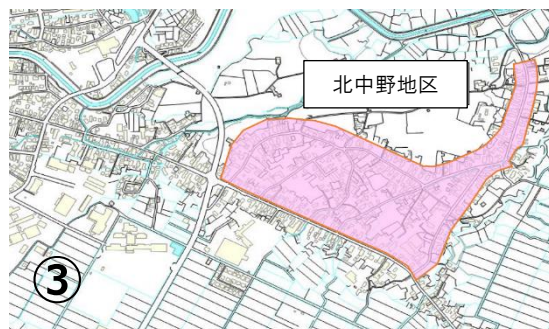
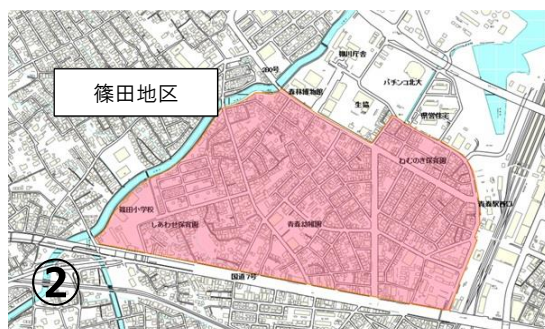
478,986千円

市民による雪の自主的処理を支援するため、河川水を利用した融流雪溝整備を計画的に進め、冬期間の快適な生活空間を創出します。

【取組内容】

- ① 佃地区 : 融流雪溝整備工事 (L=1,300m)、移設補償
[一部地域で暫定供用開始]
令和3年度 延長約4.9km、令和4年度 延長約0.6km (予定)
- ② 篠田地区 : 融流雪溝整備工事 (L=900m)、移設補償
- ③ 北中野地区 : 融流雪溝整備工事 (L=200m)

(都市整備部 道路建設課)



◆防災意識の啓発

防災対策事業【拡充】

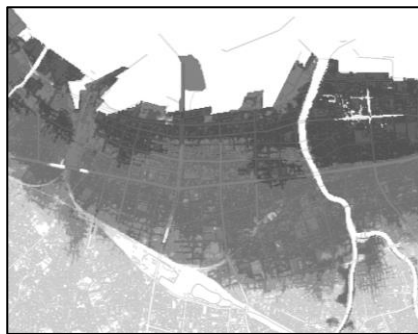
青森県が公表した新たな津波浸水想定に基づき、令和3年度に更新した青森市津波ハザードマップを津波浸水想定区域内の世帯及び事業者配布することで、住民等への津波防災の意識啓発を図るとともに、自主防災組織や町会などが行う防災訓練等を通して活用いただく場を広げます。

〔配布対象〕 津波浸水想定区域内の世帯、事業所

〔配布部数〕 約 75,000 部

〔配布時期〕 令和4年4月

21,021 千円



(総務部 危機管理課)

◆消防団員の処遇改善

消防団員報酬等支給事務【拡充】

災害時には地域防災の中核として市民の安全を守るため活動する消防団員に対し支給する報酬等について、消防庁から基準額が示されたことから、青森市の報酬単価を国の基準額に沿って見直しを行います。

【主な見直し】

年額報酬

- ・分団長 45,800 円 → 50,500 円 (+4,700 円)
- ・班長 25,000 円 → 37,000 円 (+12,000 円)
- ・団員 22,100 円 → 36,500 円 (+14,400 円)

198,870 千円



(消防本部 警防課)

◆地域の防災活動拠点の充実強化

消防団施設整備事業【拡充】※「第3 まち創り」3-1 地域内連携・広域連携の推進とも関連 9,783 千円

地域の防災活動拠点である消防団機械器具置場及びホース乾燥台について、老朽化による建て替え等により、拠点施設の充実強化を図ります。

【取組内容】

老朽化した海上工作分団第1・2班、第3班機械器具置場の複合化による建て替えをします。

- ・海上工作分団機械器具置場（新規）

令和4年度 : 調査、設計

令和5年度 : 改築工事、旧施設解体



(消防本部 警防課)

◆浸水被害を未然に防止する緊急対策

水路浚渫事業

16,000 千円

台風などによる河川氾濫等の大規模な浸水被害を未然に防止するため、市が管理している河川について緊急的かつ集中的に浚渫（土砂等の撤去・処分、樹木伐採等）を実施します。

[令和4年度予定河川]

<継続> ^{にゆうない}入内川（浚渫延長：約400m）、^{きふね}貴船川（浚渫延長：約250m）

<新規> ^{あさむし}浅虫川（浚渫延長：約250m）、^{あすか}飛鳥川（浚渫延長：約80m）



（都市整備部 公園河川課）

5-2 土地利用・都市景観の形成

◆市街地のリノベーションを支援

新町一丁目地区優良建築物等整備事業（補助金）

539,800 千円

老朽化した大規模小売店舗と飲食店舗、空地を共同化・集約化し、魅力的な商業施設と集合住宅による複合施設・駐車場を一体的・効率的に整備する事業を支援します。

- ・事業期間 令和元年度～令和4年度
（社会資本整備総合交付金を活用：補助率1/2）



中新町山手地区第一種市街地再開発事業（補助金）

430,100 千円

老朽化した中小小売店舗や飲食店舗、事務所等を共同化・集約化し、土地利用の高度化を図ることにより、魅力的な商業空間の形成と事務所やホテル、集合住宅を整備する事業を支援します。

- ・事業期間 令和元年度～令和5年度
（社会資本整備総合交付金を活用：補助率1/2）



（都市整備部 住宅まちづくり課）

5-3 交通インフラの充実

◆ 利便性の向上による鉄道の更なる利用促進

青森駅周辺整備推進事業

554,072 千円

(※令和3年度3月補正の国補正前倒し分を含む)

青森駅周辺整備の推進を図るため、JR東日本等の関係機関と連携しながら、西口駅前広場の整備を進めるとともに、駅ビル内自由通路の設計を行います。

【取組内容】

- ①西口駅前広場の整備（令和4年度供用開始予定）
バス乗降場（3台）
タクシー乗降場（3台）
一般車駐車場（30台）
自転車駐輪場（493台）
バリアフリー対応トイレ（1棟）
- ②駅ビル内自由通路の設計

(都市整備部 都市政策課)



イメージパース

◆ 市民や観光客等の利便性の確保

浅虫温泉駅バリアフリー整備事業

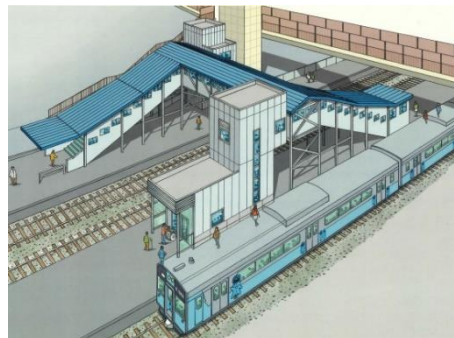
73,839 千円

浅虫地域の住民はもとより、浅虫温泉を訪れる高齢者や観光客など、誰もが安心して駅を利用できる環境を整備します。

【取組内容】

- ・駅施設におけるバリアフリー設備（エレベーター）の設置について、施設を所有する青森県とともに工事に着手します。

(都市整備部 都市政策課)



イメージパース

◆ バス交通の利便性向上

バスロケーションシステム導入事業【新規】

4,533 千円

バス利用者の利便性向上を図るため、スマートフォンやタブレット等を使用して乗車予定のバスの位置や遅延などの運行状況等がリアルタイムで把握できるバスロケーションシステムを導入します。

【サービス開始時期（予定）】

- 令和4年12月 試験運用
- 令和5年3月 本格運用

(交通部 管理課)



第6章 かがやく街

豊かな自然を守り続けるまちの実現

6-1 豊かな自然環境の保全

◆市町村連携による陸奥湾環境の保全など

むつ湾広域連携事業（連携）【拡充】

4,720 千円

陸奥湾沿岸 8 市町村と関係団体で構成する「むつ湾広域連携協議会」において、環境分野・産業分野・観光分野に関する取組を実施します。

【取組内容】

- むつ湾を守るポスターコンクール
沿岸市町村中学生を対象に募集を行い、優秀作品は次年度のむつ湾フォーラム会場へ展示のほか、フォーラムポスターへ活用
- むつ ONE リレーウォーク
陸奥湾の 3 つの半島をコースでつなぎ、沿岸市町村をリレーする陸奥湾一周のウォーキングイベント「むつ ONE リレーウォーク」の開催（6 月予定）
- むつ湾サイクルロゲイニング
むつ湾一周サイクリングコースを走破するイベントの開催（9 月予定）



（企画部 企画調整課、環境部 環境政策課、経済部 観光課・地域スポーツ課）

6-2 快適な生活環境の確保

◆老朽化した青森市斎場の建て替え

青森市斎場建替事業

24,952 千円

老朽化した青森市斎場の建て替えに向けて、整備・運営する事業者の選定準備を進めます。

新斎場の整備に当たっては、遺族や会葬者の心情、プライバシーに配慮し、動線の集中を避けることができる火葬、告別室、収骨室及び遺族控室のユニット化について検討します。

[現在の施設概要]

- 供用開始：昭和 47 年（49 年経過）
- 構造：鉄筋コンクリート造平家建（一部 2 階建）
- 主な施設：遺族控室 4 室、待合ホール、斎場ホール、収骨室 2 室
（設備） 火葬炉：人体 7 基、胎児 1 基、動物 1 基



（市民部 生活安心課）

◆良質でおいしい水の供給と適正な污水排除・処理の確保

上下水道事業の組織統合

公共下水道事業・農業集落排水事業に地方公営企業法の規定の全部を適用し、公共下水道事業等にも公営企業管理者を設置することで、水道及び下水道事業等の事務執行を統一し、企業運営の効率性・機動性の向上を図ります。

また、これに伴い、給水・排水部門を集約（窓口を一本化）し、市民の利便性の向上を図ります。

上水道施設整備事業

安全・安心な水を安定的に供給するため、老朽化した浄水場の設備及び配水管等の更新を計画的に進めます。

【主な建設改良事業】

○堤川浄水場取水ゲート設備更新事業

安全・安心な水を安定的に供給するため、老朽化した堤川浄水場取水ゲートの機械・電気設備を2か年で更新します。

2,263,772千円



公共下水道污水处理施設整備事業

「快適な生活環境の確保」、陸奥湾などの「公共用水域の水質保全」等を目的として、公共下水道の整備を計画的に進めるとともに、既存処理施設の効果的・効率的な更新に努めます。

【主な建設改良事業】

○蜷貝ポンプ場污水沈砂池設備改築機械工事

公共下水道污水处理施設の長寿命化を図るため、老朽化した蜷貝ポンプ場の沈砂池設備を改築します。

885,333千円



農業集落排水処理施設整備事業【新規】

「快適な生活環境の確保」、農業用水路などの「公共用水域の水質保全」等を目的として、農業集落排水処理施設の効果的・効率的な更新に努めます。

【主な維持管理事業】

○維持管理適正化計画策定業務委託

農業集落排水処理施設の効率的な運営を目的とし、改築時のダウンサイジングや公共下水道への接続等を検討し、維持管理適正化計画を策定します。

21,100千円



(水道部 堤川浄水課・下水道整備課)

推進体制

◆納付促進対策の推進

納付促進対策事業【拡充】

(市税) 20,408 千円

(水道料金・下水道使用料等) 12,396 千円

コンビニエンスストアやスマートフォンを利用した市税、水道料金・下水道使用料等の納付ができるサービスを提供し、納付しやすい環境づくりに取り組みます。



【サービス開始時期】

- ・平成 31 年 4 月 市税のインターネットバンキングによる納付
 - ・令和 2 年 4 月 市税のクレジットカード決済機能による納付
 - ・令和 4 年 4 月 市税、水道料金・下水道使用料等の電子マネー決済機能による納付(予定)
- (税務部 納税支援課、水道部 営業課)

◆行政窓口における決済手段の多様化

窓口キャッシュレス決済環境整備推進事業【新規】

5,867 千円

市民課窓口等での住民票の写しや税証明等の手数料について、デジタル社会や新しい生活様式へ対応するとともに、市民サービスの向上を図るため、キャッシュレス決済で支払える環境を整備します。

[導入窓口]

市民課 (駅前・浪岡)、各情報コーナー・支所 計 15 か所

[サービス開始時期]

令和 4 年 12 月 (予定) (会計機関 会計課)



◆有権者の利便性の更なる向上

参議院議員選挙事業【拡充】

108,188 千円

市議会議員選挙事業【拡充】

199,892 千円

有権者が投票する際の更なる利便性向上を図るため、参議院議員通常選挙から従来の期日前投票所 3 か所 (大学を除く) に加えて市内の東西 2 か所に期日前投票所を増設します。

[期日前投票所]

従来：アウガ、浪岡庁舎、イオン青森店

増設：ラ・セラ東バイパスショッピングセンター、マエダガーラモール店 (予定)

(選挙管理委員会事務局)



青森市のわかりやすい予算書 【令和4年度】

■発行年月 令和4年3月

■お問合せ先 青森市企画部 財政課

〒030-8555 青森県青森市中央一丁目22番5号

電話番号 017-734-5187 FAX 017-734-5180
